

若手作曲家による
新作工房プロジェクト

トリコロール

3から生まれた音楽は…!!

2016年

11月3日木・祝 14:00開演 (13:30開場)

京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ

(地下鉄「北山駅」①③番出口南へ徒歩5分)

全自由席 1,500円 *会員 1,350円

*京都コンサートホール・ロームシアター京都Club (会費:1,000円) と京響友の会会員が対象です。

*会員先行: 7月3日⑥ 一般発売: 7月10日⑥

坂田直樹 Naoki Sakata

Tilt-shift pour Saxophone soprano seul (世界初演)

ソプラノ・サクソフォン: 井上ハルカ

Afterimages II pour Piano seul (2013年)

ピアノ: 安田結衣子

増田真結 Mayu Masuda

歌と語りのためのシアターピース《戻り橋》(世界初演)

作詩: みなづきみのり

指揮: 伊東恵司

十七絃箏唄: 中川佳代子

合唱: みやこ・キッズ・ハーモニー、合唱団「葡萄の樹」

山本祐介 Yusuke Yamamoto

Stream of the Green (1993年)

Improvisation for Synthesizer and Vibraphone (即興演奏)

Three Pieces for Vibraphone and Three Materials (世界初演)

ヴィブラフォン・打楽器・電子楽器: 山本祐介

●ご予約・お問合せ

京都コンサートホールチケットカウンター TEL.075-711-3231

(10:00~17:00)

第1・第3月曜日休館 (休日の場合は翌平日)

24時間いつでも! オンラインチケット購入

詳しくはWEBで 京都コンサートホール

検索

ロームシアター京都チケットカウンター
ローソンチケット

TEL.075-746-3201 (10:00~19:00) 年中無休 (臨時休館日除く)

TEL.0570-000-407 (Lコード: 54927)

*出演者・曲目などは都合により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。*未就学児のご入場はご遠慮ください。

主催: 京都市/京都コンサートホール (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

後援: 村田機械株式会社 助成: 公益財団法人朝日新聞文化財団/平成28年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業 文化庁

デザイン画: 渡辺 亮

若手作曲家による新作工房プロジェクト トリコロール

3から生まれた音楽は…!!

与えられた共通テーマを、作曲家たちはどのように料理したか?! 今回のテーマは「3」。
三次元、三種のうた、三つの材質…考えることは三人三様。関西ゆかりの若手作曲家三人が、それぞれに持っている世界を繰り広げる新作工房「トリコロール (三色)」。
パリ在住で数々の賞に輝く今注目の坂田直樹、日本古来の音と現代の響きを融合させることにおいては右に出る者がいない増田真結、ニューヨークでパーカッション、ヴィブラフォン、キーボードを駆使して制作を続ける山本祐介。
「3」から発想されたできたてホヤホヤの音楽を、一緒に味わってみませんか?

コーディネーター: 岡田加津子 (作曲家・京都市立芸術大学准教授)



坂田直樹 「タイトルのTilt-shiftとは撮影技術の名前。長さ、高さ、そして奥行きという
Naoki Sakata “3” 次元的な表現をカメラからの着想で膨らませてみました。」

チルトシフト 〜ソプラノ・サクソフォン・ソロのための〜 (世界初演) ソプラノ・サクソフォン: 井上ハルカ
Tilt-shift pour Saxophone soprano seul
アフターイメージズ (様々な残像) II 〜ピアノ・ソロのための〜 (2013年) ピアノ: 安田結衣子
Afterimages II pour Piano seul

1981年、京都生まれ。現在パリに在住。ロックやテクノを経験したのち、活動の場を現代音楽に移す。愛知県立芸術大学、パリ・エコール・ノルマル音楽院をともに首席で卒業。2013年、パリ国立高等音楽院にてステファノ・ジェルヴァゾーニのクラスを修了ののち、IRCAMにてテクノロジーと音楽の提携について学ぶ。これまでに武生国際音楽祭、Festival Musica (フランス)、Festival Opera Barga (イタリア)、Vienna Saxophone Festival (オーストリア) など、国内外の多数の音楽祭や企画で作品が採り上げられ、フィルハーモニー・ドゥ・パリ、サル・コルター、ポンピドゥー・センター、ラジオ・フランス、東京オペラシティ、京都コンサートホールなど、著名な会場でそれらが演奏されている。桑原賞、SACEM賞、第36回入野賞受賞。武生作曲賞、日本音楽コンクール入選。2010,11年度、ロームミュージックファンデーション奨学生。愛知県立芸術大学非常勤講師。



増田真結 「西洋的な「歌」、邦楽的な「唄」、それを念頭にみなづきみのりさんに書き下ろして
Mayu Masuda いただいた「詩」の3つの「うた」で新作を構成しています。」

歌と語りのためのシアターピース《戻り橋》(世界初演)
Theater piece for chorus and 17-gen koto-uta "Modoribashi"

作詩: みなづきみのり
指揮: 伊東恵司
十七絃箏唄: 中川佳代子
合唱: みやこ・キッズ・ハーモニー
合唱団「葡萄の樹」

1981年生まれ。京都市立芸術大学卒業、同大学院音楽研究科修士課程及び博士(後期)課程を修了。博士論文「箏唄の作曲手法—古代歌曲の古楽譜の解釈と音律研究を起点として」により博士号(音楽)取得。近年は音律種々の「うた」を中心に創作を続けている。第10回東京国際室内楽コンクール第3位入賞、第23回現音作曲新人賞受賞、第15回及び第18回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門一般の部第2位入賞、第78回日本音楽コンクール作曲部門入選。ドイツ、ジューゲ市における音を使ったインスタレーションの展覧会《Klanginstallation》に作品を招待出品。日本の音楽創作の研究・普及団体であるJCMR Kyotoの一員として、平成25年度京都市芸術文化特別奨励者に認定。神戸女学院大学、京都市立芸術大学非常勤講師。近年の作品: モノオペラ《ひとでなしの恋》(制作: 京都芸術センター)



山本祐介 「打楽器の3つの代表素材、木と金属と皮物に、ヴィブラフォン(これまた金属)との
Yusuke Yamamoto 共演を小品にしてみました。3つの素材の合奏をお楽しみください。」

緑のながれ (1993年)
Stream of the Green
シンセサイザーとヴィブラフォンの即興 (即興演奏)
Improvisation for Synthesizer and Vibraphone
ヴィブラフォンと3種の素材の為の小品 (世界初演)
Three Pieces for Vibraphone and Three Materials

ヴィブラフォン・打楽器・電子楽器: 山本祐介

兵庫県加古川市出身。幼少の頃からオルガンに親しみ作曲を始める。国立音楽大学で打楽器を専攻、岡田知之、上野信一、奥原光の各氏に師事。卒業後、渡米しボストンのパークリー音楽大学へ全額奨学金を得て入学。ヴィブラフォンをゲイリー・バートン氏に師事。同時期から打楽器作品を中心に様々なグループから委嘱を受ける。同校を首席で卒業後ニューヨークに拠点を移し活動を開始。TVのCM音楽制作、ブロードウェイミュージカル出演やNYのブルーマングループとの共演、ディズニー映画のエンディングテーマ曲に録音参加する等のキャリアを重ねる。channel U、Golden Monkeys名義で自己のアルバムを発表。現在、打楽器、キーボード等を操るマルチプレイヤーとして、また作曲家、プロデューサーとしてニューヨークを拠点に世界中で多彩な活動を続けている。

**京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ**



〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26 (地下鉄「北山駅」①③番出口南へ徒歩5分)
Tel 075-711-2980 (代表)

24時間いつでも! オンラインチケット購入

詳しくはWEBで

京都コンサートホール

検索

チケットのご予約・
お問い合わせ

☎075-711-3231

(10:00~17:00)

第1・第3月曜休館
(休日の場合は翌平日)

